

バンドのオリジナル曲光った



キワニス「きらり賞」

和歌山信愛高の4人組

県内の高校生を対象にしたオリジナルの音楽作品のコンテスト「第28回青少年のメッセージ『きらり』」(和歌山キワニスクラブ主催)の表彰式が、和歌山市湊通丁北のホテルアパローム紀の国で26日開かれた。最優秀の「きらり賞」は和歌山信愛高校(和歌山市)の軽音楽部の4人組バンド「coffeeみるくシユガー」の作品「towa(トワ)」が選ばれた。

同クラブが、高校生らに芸術への関心と創作意欲を高めてもらおうと毎年実施している。今年「Let's Fly! 未来に向かって羽ばたこう」をテーマに募集し、応募のあった6作品の中から外部委員を含む選考委員会で選んだ。「coffeeみるくシユガー」は蒸野菜々花さん(16)▽木村心咲さん(16)▽古川なな花さん(16)▽池内結香さん(16)の1年生4人で構成。和歌山信愛中学校1年生のときに結成し、約4年間の活動で今回が初のオリジナル作品だった。

「きらり賞」に選ばれた和歌山信愛高校のバンド「coffeeみるくシユガー」は和歌山市

「きらり」の応募を目指して昨年の夏休みに曲をつくり、練習を重ねたという。表彰式では、同クラブの西口伸会長から賞状などを受けたあと、出席者を前に受賞作品「towa」を披露した。作曲した古川さんは「きらり賞をとれると思っていなかった。びっくりしている」と笑顔。リーダーの蒸野菜さんは「今度は軽音楽部の大会で賞をとりたい」と次の目標を話した。

優秀賞は県立星林高校吹奏楽部の「空に向かって」と県立海南高校3年の二川凜さんの「一歩」が、奨励賞は県立那賀高校放送部の「未来図」が選ばれた。

信愛高校バンドが受賞

キワニスクラブの「きらり賞」



楽曲を披露する「coffeeみるくシュガー」

ローム紀の国で表彰式が行われ、西口会長が受賞者に表彰状と副賞を手渡した。

受賞作品も披露され、星林高校吹奏楽部30人が合唱し、二川さんも作品を熱唱。最後に信愛高校の「coffeeみるくシュガー」がバンド演奏した。

同バンドはギターフリーダー・蒸野菜々花さん(ベースギター)、木村心咲さん(リードギター)、古川なな花さん(ボーカル)、バックینگギター、池内結花さん(ドラム)の4人。同中学校1年生の5月に結成し、現在

審査の結果、きらり賞の他、優秀賞に県立星林高校吹奏楽部の「空に向かって」、県立海南高校3年生の二川凛さんの「一歩」、奨励賞に県立那賀高校2年生の坂部妃莉さんの「未来図」が選ばれた。

26日に和歌山市湊通丁北のホテルアパ

ト・ボーカロイドの曲やアニメソングを演奏してきたが、今

芸術への関心と創作意欲を高めてもらう。今年度は、「let's ma」に、4校から6件おと「同クラブが毎回「未来」に向けて「品が寄せられた。

未来を担う子どもたちのために奉仕活動をする和歌山キワニスクラブ(西口伸会長)は、音楽制作に取り組み高校生を対象に、優れたオリジナル楽曲を公募、表彰する「青少年のメッセージ『きらり』」を行った。最優秀賞のきらり賞に、和歌山信愛高校1年生のバンド「coffee(コーヒー)みるくシュガー」の「Dma(トワ)」が選ばれた(学年は表彰式時点)。

合唱する星林高校吹奏楽部



いくつうちに自分の役割が分かった。歌の最後は明るい未来を表現した。蒸野菜さんは「これからも活動を続け、積極的に応募していきたい。高校2年で、軽音楽の大会で大きな賞を目指します」と話した。

回、初挑戦したオリジナル曲での受賞となった。蒸野菜さんと古川さんが半年かけて作曲し、途中、何度も作り直したという。一方、3日間で作詞したという木村さんは「歌の中に物語を作

企画とアイデアを提供する

有限会社 土屋総合印刷

TEL (073) 422-1830 (代)

FAX (073) 432-0095